

ジェームス・ダン

(ジェームス・ダンは、直江津小学校校歌の作曲者です) 令和3年9月7日



金メダリストから学ぶ 楽しむ力と感謝の心

デルタ株の蔓延状況が全国的に広がる中ですが、児童 133 名は無事に 2 学期始業を迎えることができました。久しぶりに子どもたちの元気な顔が見られることが本当に有難いことです。

2 学期始業では、東京オリンピックの 27 個の金メダルに焦点をあて次のような問いかけをしました。(下の写真のような新聞記事のキリトリを提示しました。)

- ① 皆さんが印象深かった金メダルはどれでしたか？
- ② 金メダルを取れた人たちはどんな力があつたと思いますか？

金メダリストの記事の選手の言葉や背景から、その力の源を探ってみました。

○悔しさをバネに高い目標に立ち向かう。

金メダル1号の柔道の高藤選手はリオのオリンピックでは銅メダルでした。その悔しさを常に忘れず、今年の年賀状には「絶対に金メダルを取ります」と直筆で書いていたそうです。

○平常心でリラックスして実力を出し切る

二つの金メダルをとった水泳の大橋選手は、他の有力メダル候補が緊張する中で、平常心で自分のペース配分を守り続け、自分のベストを出し切り見事、金メダルを獲得しました。

○基礎基本を繰り返す努力する。

女子初のボクシング入江選手は、小学校時代、友達が簡単にできるステップを何日も居残りをして身に着けました。苦手な事でも、続けることで何かを掴むことができると言っています。

○チーム一丸となり仲間を信じる。

女子ソフト、野球などチームの力を結集して相手に一丸となって取り組み金メダルを獲得しました。決してあきらめない姿勢がここぞというときにスーパープレーを生み、見事逆転勝利に結びつけています。スーパースターがいなくてもスーパーチームが確立しています。

金メダリストに共通していると感じたことは、その競技に参加することに楽しんで、支えてくれるすべてに感謝の気持ちがあることです。自分の努力はもちろん仲間やサポートへの感謝のこころや尊敬する気持ちが随所に感じられました。惜しくもメダルを逃した選手や不本意な成績に終わった選手もいます。しかし、競技に挑戦する姿こそが私たちに人間の素晴らしさ可能性を教えてください。パラリンピック選手も含めて大きな感動を与えてくれたことに改めて感謝です。

オリンピック・パラリンピックの選手の姿から是非、直小の子どもたちにも自分の楽しめることを見つけ「夢の実現」を目指してほしいと思います。

コロナ禍中ですが、感染予防に努めながら子どもたちの成長を支える2学期をスタートします。よろしく願いいたします。



金メダルの新聞記事を掲示して一覽にしました。印象に残った選手にはシールを貼ってもらいました。

150周年事業③ ～ボルダリング壁 完成～

夏休み中に設置工事が行われた「ボルダリング壁」の除幕式が、8月27日（金）に行われました。ボルダリングは、子どもたちの体力向上とともに、バランス感覚や登るルートを選ぶなど思考力、危険を察知する危機回避能力も育みます。まずは体育の学習で活用し、使い方が定着しましたら休み時間等の遊びに使いたいと考えています。



除幕式のテープカット



2年生：体育で学習 ～左から右斜め上に移動～

図書館ボランティアの募集（お願い）

子どもたちへの読み聞かせや、本の整理をしてくださるボランティアを募集します。現在、3名の方がボランティアとして登録してくださっています。コロナ禍でありますので、様子見ながらの活動になります。資格や経験など必要ありません。「子どもが小さいときに、よく読んだ覚えがある」という方、「読み聞かせをやってみようかな」と思う方、ご自身が本が好きな方など、多くの方の参加をお待ちしています。小さいお子さん連れでも結構です。ご協力お願いいたします。

【活動内容】

- ① 本の読み聞かせ（月2回程度、水曜日）
 - ・低学年中心
（読書週間中は中、高学年も）
 - ・8:15～8:25
- ② 本の整理や修復



昨年度の読み聞かせ風景

※ボランティアの参加希望や、ボランティア参加についてお聞きになりたいことがありましたら、学校の図書館教育担当まで、ご連絡ください。

（直江津小学校 TEL543-2645 担当 西山）

150周年事業④ ～寄付金の途中経過～

たくさんのご寄付、ありがとうございます。本来であれば、地域の皆様の玄関先までお預かりに伺うべきところですが、コロナ禍ですので郵便振込みや学校までご持参をお願いしました。申し訳ないことです。令和3年度8月25日現在、以下のようにお預かりしています。



総額 1,334,968円

(内訳)	地域の皆様	651,129円
	保護者	244,000円
	職員・旧職員	439,839円

Thank you

今年度末まで集めさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

150周年事業⑤ ～10月30日(土)記念式典の縮小開催～

当初の計画では、保護者や地域の皆様をお招きし、児童の「汐なり発表会」や「ベヒシュタインコンサート」などを催し盛大に開催する予定でした。しかし、最近のデルタ株の蔓延状況から8月26日(木)に行われた第3回150周年代表委員会において判断し、式典内容と参加者数を縮小して行うことに決まりました。苦渋の選択です。ベヒシュタインコンサートは、来年度の「汐なり教育の日」に延期いたします。

後援会費にて「固定式の非接触型体温計」を設置しました

基本的な感染防止対策の一つに、「感染源を断つこと」が挙げられています。外からウイルスを持ち込まないようにすることです。

子どもや職員は、家庭で一日2回検温し、毎朝、「検温カード」を学校に提出しています。保護者の皆様にも、授業参観の際に「検温カード」の提出をしていただいています。

日々来校するお客様の体調も心配です。そこで、お客様自身もご自分の体調を確認できるようにするため、児童玄関と職員玄関に「固定式の非接触型体温計」を設置させていただきました。費用は、後援会会計から捻出させていただきました。来校の際には、手指消毒・マスク着用とともに、体温の確認をお願いいたします。

4台購入させていただきました



額もしくは手首の内側で検温します

